

第
62
回

全国知的障害福祉 関係職員研究大会

香川大会



日程

令和8年

10月22日(木)
23日(金)



会場

サンポートホール高松



テーマ

私たちの
心を紡ぐ『架け橋』

～ 時間・空間を超えて繋がるために、私たちが大切にしたいこと～

【主 催】公益財団法人日本知的障害者福祉協会
四国地区知的障害者福祉協会 特定非営利活動法人香川県知的障害者福祉協会

第 62 回 全国知的障害福祉関係職員研究大会 香川大会 開催概要

大会テーマ

私たちの心を紡ぐ『架け橋』

～ 時間・空間を超えて繋がるために、私たちが大切にしたいこと～

大会趣旨

障害福祉では長く「ノーマライゼーション」や「利用者中心の支援」を掲げた実践が行われてきました。一方で依然として障害者虐待はなくなり、現場では制度の変化への対応や人材不足による厳しい状況が続いています。近年は「意思決定支援」や「ソーシャルインクルージョン」などの新たな概念が広がり、国連の障害者権利条約に関する対日審査の勧告も踏まえ、いまあらためて「支援の本質」が問われています。

こうした変化の中でも、制度が整っていない時代から先人たちが大切にしてきた想いや、当たり前のように実践されてきた支援の根幹を、私たちは立ち止まって見つめ直す必要があります。その上で、地域と結びつきながら、時代に応じた新しい福祉の姿を創造していくことが求められています。

人と人がつながり、対話を重ねることは福祉の基本ですが、その中心となる「相談」機能は、時間や予算の制約により様々な事業における取り組みの中で十分に活かされていない現状があります。だからこそ、私たちの支援の核である「相談」や「ソーシャルワーク」を捉え直し、障害のある方との“心の架け橋”、関係機関をつなぐ“ネットワークの架け橋”、そして先人の想いを未来へつなぐ“レガシーの架け橋”を再構築する契機となる2日間の研修にしたいと考えています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

主 催

- ・公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
- ・公益財団法人 日本精神科病院協会
- ・特定非営利活動法人 香川県知的障害者福祉協会
- ・四国地区知的障害者福祉協会

後 援（予定）

- ・厚生労働省
- ・文部科学省
- ・こども家庭庁
- ・香川県
- ・高松市
- ・公益社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会
- ・障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会
- ・社会福祉法人 全国社会福祉協議会
- ・全国社会就労センター協議会
- ・公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会
- ・特定非営利活動法人 全国地域生活支援ネットワーク
- ・一般社団法人 全国知的障害者施設家族会連合会
- ・一般社団法人 全国児童発達支援協議会
- ・社会福祉法人 全国重症心身障害児（者）を守る会
- ・一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会
- ・特定非営利活動法人 日本障害者協議会
- ・公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会
- ・公益社団法人 日本精神科病院協会
- ・特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会
- ・公益社団法人 日本発達障害連盟
- ・一般社団法人 日本発達障害ネットワーク
- ・一般社団法人 日本自閉症協会
- ・一般社団法人 全日本自閉症支援者協会
- ・香川県社会福祉協議会
- ・香川県社会就労センター協議会
- ・香川県手をつなぐ育成会
- ・香川県知的障害児者生活サポート協会
- ・四国新聞社・朝日新聞・読売新聞
- ・NHK 高松放送局
- ・RNC 西日本放送
- ・KSB 瀬戸内海放送

開催日

令和8年10月22日（木）・23日（金）

参加者

- ①知的障害福祉関係職員
- ②教育関係者、関係行政職員、その他

会 場

- 第1日目：研修会
サンポートホール高松
情報交換会
JR ホテルクレメント高松『飛天の間』
- 第2日目：分科会
サンポートホール高松

大会日程

・第1日目 10月22日（木） 全体会

11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	15:20	17:00	18:30	20:30
受付	開会式 授賞式	行政説明 厚生労働省 (調整中)	基調講演	休憩	シンポジウム	終了	情報交換会	

・第2日目 10月23日（金） 分科会（5分科会）・全体会

9:00	9:30	14:00	14:20	15:20	15:30
受付	分科会 (分科会ごとに途中60分の昼休憩)	移動	全体会 特別講演	閉会式	終了

大会参加費

- ・1名につき 会員：18,000円（税込）／一般：25,000円（税込）

情報交換会

- ・1日目の研修会終了後、大会参加者を対象に実施いたします。
- ・1名につき 15,000円（税込）
- ・会場：JR ホテルクレメント高松『飛天の間』
〒760-0011 香川県高松市浜ノ町 1-1
- ・定員：600名（先着順）

申込期間

- ・令和8年7月21日（火）～令和8年8月21日（金）
- ・参加者定員 1,200名
※申し込み期間中であっても定員に達し次第、締め切らせていただきます。

お弁当申込（希望者のみ）

- ・2日目のみ… 各分科会会場（サンポートホール高松）にて配布
○お茶付き弁当 1,500円（税込）

宿 泊

- ・JR高松駅（サンポート高松）周辺および高松市中心街近辺（別紙参照）
名鉄観光サービス株式会社高松支店による斡旋もいたします。



1日目

10月22日(木)

サンポートホール高松 大ホール

全 体 会

12:00 ～ 13:00 開会式・授賞式

13:00 ～ 14:00 行政説明 厚生労働省（調整中）

14:00 ～ 15:00 基調講演「縦と横をつなぐ架け橋」



講師：坂井 聡 氏
(香川大学 教授)

香川大学教育学部教授
教育学部附属特別支援学校長や
学生支援センターバリアフリー
支援室長を兼務

自閉スペクトラム症等の児童生徒への実践的研究を専門とし、特別支援教育の最前線でインクルーシブ社会の実現に尽力。スケジュールの見通しを支援する「アシストガイド」や感情を視覚化する「スマイルメーター」など、パニック対応や自己表出の困難さといった現場の課題に直結したICTアプリの開発も手掛ける。

本大会では、制度や空間を超えて人と人をつなぐ「支援の架け橋」のあり方について、明日から実践できる具体的な視点を参加者の方々と考えたいと思います。

15:20 ～ 17:00 シンポジウム

テーマ「私たちが繋がり、紡いでいきたいもの」

●司会・進行：社会福祉法人福角会 理事長 山崎 隆 氏

●シンポジスト：香川大学 教育学部 教授 坂井 聡 氏

日本知的障害者福祉協会 顧問 井上 博 氏

社会福祉法人柏学園 理事長 米川 晃 氏

情報交換会

18:30 ～ 20:30 情報交換会（会場：JR ホテルクレメント高松）



2日目

10月23日(金)

サンポートホール高松 各会場

分科会

9:30 ～ 14:00 分科会（分科会ごとに途中 60 分休憩）

第1分科会
国際会議場

こども達の豊かな未来への架け橋

～こどもと家族の豊かな地域生活を支えるために～

【趣旨】

これからの障害児施設には、障害の有無にかかわらずこども達が共に育ち地域で暮らしていくための環境づくりや、インクルージョン推進の中核となる取組みの展開が入所・通所を問わず期待されています。本分科会では、強度行動障害を有する児童への支援や複雑な家庭環境を背景にもつ親子への支援など、障害児福祉を取り巻く環境が厳しさを増す中でもぶれることなく大事にすべき今後の方向性等について議論し、参加者それぞれが考えを深めていく機会とします。

【分科会のスケジュールと内容】

第1部 9:30 ～ 10:20

行政説明 「障害児関係施策の動向」(仮)

講師 こども家庭庁(調整中)

第2部 10:30 ～ 11:45

講演 「障害のあるこどもの well-being と通所と入所の役割」

講師 社会福祉法人麦の子会 理事長 北川 聡子 氏

11:45 ～ 12:45 休憩

第3部 12:45 ～ 14:00

講演 「障害児支援におけるインクルージョンの視点」

講師 香川大学教育学部 准教授 松井 剛太 氏

第2分科会 大ホール

本人の望む暮らしへの架け橋

～支援の実践を活かすために～

【趣旨】

強度行動障害のある方への支援や、言葉で意思を表すことが難しい方の意思決定支援、施設が地域のセーフティーネットとして果たす役割など、現場には多くの課題と同時に大切な実践の積み重ねがあります。本分科会では、これらを個人の経験にとどめず、チームや地域で共有し、支援の質を高めていきたいと思います。そして、施設が地域の支えとして機能していることを確認する場とします。

【分科会のスケジュールと内容】

＜コーディネーター＞香川大学教育学部 附属特別支援学校校長 坂井 聡 氏

9：30～10：20

事例発表①「強度行動障害への支援と中核的人材が育む“チームの力”」

社会福祉法人 池田博愛会 障害者支援施設 箸蔵山荘 木村 公明 氏（徳島県）

10：30～11：20

事例発表②「重度の利用者の意思決定支援 ～言葉にならない思いをどう受け止めるのか～」

社会福祉法人 水仙福祉会 ワークセンター豊新（生活介護事業所）川村 隼平 氏（大阪市）
風の子そだち園（生活介護事業所）田原 彰人 氏（大阪市）

11：20～11：40 （登壇者を交えて 質疑応答）

11：40～13：00 休憩

13：00～14：00

事例発表③「施設が地域のセーフティーネットとなるために」 ～能登半島地震における“甚大な被害を免れた施設”の地域実践から～

社会福祉法人 つばさ会 障害者支援施設 つばさ施設長 吉田 正宏 氏（石川県）

第3分科会 第1小ホール

支援力とテクノロジーの架け橋

～A I と共存し利用者支援を深めるために～

【趣旨】

現在、どの業界も深刻な人材不足に対応するために ICT・DX 化を急速に進め、AI が人の代わりに業務を遂行する時代になりつつありますが、福祉の仕事は利用者の個別支援が主体となるため、業務を一律的にデジタル化・マニュアル化することは容易ではありません。また、人手不足や業務の煩雑さは人材育成にも影響しており、障害特性や支援内容を十分に理解できないまま職務に従事する職員がいることも課題になっています。本分科会では、障害特性をよく理解した上での AI 等の活用による業務の簡素化を目指し、福祉の仕事がデジタル化されるような新たな取り組みから、今後の福祉の仕事の在り方を考える機会とします。

【分科会のスケジュールと内容】

9：30～10：30

講演①「障害者の認知特性について 自閉症やダウン症の認知と支援のあり方」

長崎国際大学大学院 人間社会学研究科 社会学専攻 NPO 法人はぴふる 副理事長 草原 比呂志 氏

10：30～11：30

講演②「自閉症の感覚特性について テクノロジーによるコミュニケーションツールを使って理解を深める」

日本文理大学 准教授 宮崎 仁 氏

11：30～12：30 休憩

12：30～14：00

講演③「障害福祉における未来について 生成 AI の活用について」

九州工業大学大学院 生命体工学研究科 教授 ケア XDX センター長 井上 創造 氏

第4分科会
第2小ホール

本人の働く希望と夢への架け橋

～誰もが希望をもって自分らしく働くために～

【趣旨】

就労選択支援事業施行から1年、障がい者の意思や希望に寄り添うアセスメントと支援が強く求められています。本事業に限らず、障がいのある方が社会の一員として地域で生き、働きやすい社会を実現するには、多機関が連携した就労支援が不可欠です。本人が出会いや経験、選択を積み重ねて希望する「働くこと」を実現するため、相談支援事業所をはじめとする施行からすべての関係機関がソーシャルワークを中心にニーズを共有し、思いをつなぐことが大切です。本分科会では、1年の実践的な取り組みを通し、多様な働き方を支えるインクルーシブな就労支援と、障がいのある方の働く未来について多角的に考える機会とします。

【分科会のスケジュールと内容】

9：30～11：30 実践発表（各40分）
実践報告①「福祉型カレッジ・ふっくりあホイスコーレの取り組み」
社会福祉法人維雅幸育会統括管理者 奥西 利江 氏
実践報告②「就労選択支援事業の多機関連携の中で見えてきたもの」
社会福祉法人みんなの輪 るーぶ美里管理者 / 主任相談支援専門員 吉城 麻衣子 氏
総括・提起「相談支援機能を軸として就労系事業を捉え直してみよう」
厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 就労選択支援専門官 鈴木 大樹 氏
11：30～12：30 休憩
12：30～14：00 パネルディスカッション
「多様な働き方・ディーセントワークを支えることとは」
・パネリスト：鈴木 大樹 氏（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 就労選択支援専門官） 奥西 利江 氏（社会福祉法人維雅幸育会 統括管理者） 吉城 麻衣子 氏（社会福祉法人みんなの輪 るーぶ美里 管理者 / 主任相談支援専門員） ・コーディネーター：志賀 正幸 氏（全国生産活動・就労支援部会 部会長）

第5分科会
第61会議室

自立を支える地域生活と相談支援の架け橋

～自分の人生を自分で選択するために～

【趣旨】

「支援の本質」が問われている今日、利用者への自立支援や地域連携に取り組む中で、支援スタッフは日々多様な課題に直面しており、意思決定に必要な選択肢の提示や自己表出を促す支援において難しさを感じているのではないのでしょうか。本分科会では、関係機関との連携の構築がソーシャルワークそのものでありながらも制度的に評価されにくい現状です。こうした状況を踏まえ、支援をより円滑に進めるために何が必要なのかを、改めて一緒に考えてみませんか。関係者が一堂に会し、事例を共有しながら意見を交わすことで、課題の整理や新しい気づきにつながり、今後の支援に前向きな光が差すことを期待しています。

【分科会のスケジュールと内容】

司会進行：障害者相談支援センターりゅうん センター長 / 主任相談支援専門員 富田 克美 氏

9：30～10：20	
講演「グループホームに関わる相談支援における課題整理」	
日本知的障害者福祉協会 顧問 井上 博 氏	
10：30～11：10	
事例発表①「当事者の声を聴いて願いに向き合う地域生活支援」	
社会福祉法人北海道光生会 理事長 高橋 一裕 氏	
事例発表②「ひとりひとりの地域生活を支えるための相談支援とは」	
松山市障がい者南部地域相談支援センター センター長 / 主任相談支援専門員 藤本 篤 氏	
11：50～12：00 司会進行によるまとめ	12：00～13：00 休憩
13：00～14：00	
パネルディスカッション（午前の内容を受け質疑応答）	
・パネリスト：日本知的障害者福祉協会 顧問 井上 博 氏 社会福祉法人北海道光生会 理事長 高橋 一裕 氏 松山市障がい者南部地域相談支援センター センター長 / 主任相談支援専門員 藤本 篤 氏	

移 動

14:00 ～ 14:20 会場：サンポートホール高松 大ホール

特別講演

14:20 ～ 15:20 特別講演



講師：白井 一幸 氏（香川県出身）
（育成・チームビルディングコーチ、
2023WBC 侍ジャパンヘッドコーチ）

1961 年 香川県さぬき市生まれ
香川県立志度商業高等学校（現志度高校）
駒澤大学時代、日米大学野球日本代表キャプテン
1983 年 ドraft 1 位で日本ハムファイターズ入団
1991 年自身最高打率 311 リーグ 3 位、
最高出塁率とカムバック賞を受賞

1997 年日本ハムファイターズ球団職員となり、2001 年 2 軍監督を経て 1 軍ヘッドコーチに就任。2006 年北海道日本ハムファイターズ日本一達成。球界では北海道日本ハムファイターズ在任中、リーグ優勝 3 回、日本一 2 回。2023 年、栗山監督の切望でヘッドコーチとして就任した侍ジャパンでは、世界一をつかんだ立役者となる。

また、プロ野球界初の人材育成・チームビルディング講師として企業研修、講演の講師を主軸に活動。テレビ、ラジオのレギュラー番組でコメンテーター、野球解説など多岐にわたり活動を続ける。年間の講演・企業研修の登壇は250日を超える。著書は「メンタル・コーチング～潜在能力を最高に発揮させるたったひとつの方法」等多数出版。

閉会式

15:20 ～ 15:30 閉会式

問い合わせ



(1) 大会に関するお問い合わせ先

全国知的障害福祉関係職員研究大会 香川大会事務局 担当：城下・里見
〒761-0101 香川県高松市春日町 1291-1
電 話 087-884-7780 FAX 087-884-7781
メール kagawa-62taikai@ca.pikara.ne.jp

(2) 参加各種お申込み・宿泊に関するお問い合わせ先

名鉄観光サービス株式会社高松支店 担当：前田
〒760-0023 香川県高松市寿町 1-4-3(高松中央通りビル 3F)
電 話 087-822-1621 FAX 087-822-1628